

## 2019年度 シラバス

教科	地理歴史	科目	世界史B	学年	3
				コース	スポーツ
	使用教科書		『世界史B』東京書籍	履修単位数	3
学習目標	世界の歴史を通じて他国の伝統や文化を学ぶことで、昨今進展著しい国際化社会への対応を図る。それと共に、その意義についての考察を行い理解を深める。			評価観点	定期試験の素点を軸に、小テストや提出物の成果、授業での積極的な参加、授業外での世界史に対する取り組み方などを総合的に評価する。
<b>授 業 計 画</b>					
月	単元・教材	学 習 内 容			
4	第3編 一体化する世界 第12章 大交易時代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大交易(航海)時代という時代の潮流の中で、東方の東アジア世界、西方のヨーロッパ世界、そしてそれらを結ぶインドやアメリカ大陸の情勢について理解する。</li> <li>・大交易時代における各国の動きを軸に、各地での経済的展開を理解することで、知識の拡充を目指す。</li> <li>・宗教改革や西ヨーロッパ諸国の台頭と繁栄を軸に、近世の欧州史を把握する。</li> <li>・それらを背景として形成された、現在にも繋がる様々な考え、体制について理解を深める。</li> </ul>			
5	第14章 近世のヨーロッパ				
《第1回定期試験》					
6	第15章 欧米における工業化と国民国家の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英仏を中心とした、北米やインドでの植民地争奪戦の展開を理解する。</li> <li>・その末におこったイギリスの産業革命、アメリカ独立戦争、フランス革命という世界史の転換点について学習する。</li> <li>・併せてこれらの事象の歴史的意義を踏まえ、現代に繋げる事で学習目標の達成を図る。また当時の社会の矛盾点をさえ、以降の学習の足がかりとする。</li> <li>・ナポレオン戦争とそれ以後の国際秩序体制(ウィーン体制)を把握し、諸国の情勢をおさえる。</li> </ul>			
7					
《第2回定期試験》					
9	第4編 地球世界の形成と課題 第16章 産業資本主義の発展と帝国主義	<ul style="list-style-type: none"> <li>・19世紀における各国の帝国主義の情勢を中心に、変容する社会情勢、植民地の情勢などを理解する。</li> <li>・第一次世界大戦の惨状、戦後国際秩序(ヴェルサイユ体制、ワシントン体制)の矛盾という戦間期をおさえ、その後の第二次世界大戦への流れを理解する。</li> <li>・第二次世界大戦における、日本を含めた各国の情勢をおさえ、「教養としての歴史」知識の拡充をおこなう。</li> </ul>			
10	第18章 世界戦争の時代				
11					
《第3回定期試験》					
12	第19章 戦後世界秩序の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第二次世界大戦の終結から戦後秩序の形成、その末に始まる事となる冷戦体制の形成といった現代史の推移を把握する。</li> <li>・冷戦の展開と植民地の独立、各国情勢などを学習し、現在の国際情勢へと繋げる。</li> </ul>			
1	第20章 情報革命と世界経済の一本化				
2					
3					
副教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『グローバルワイド 最新世界史図表』第一学習社</li> <li>・『要点マスター整理ノート 世界史B』東京書籍</li> </ul>				

## 2019年度 シラバス

教科	地歴公民	科目	<b>現代社会</b>	
			学年	3
使用教科書			『現代社会』東京書籍	履修単位数
			コース等	スポーツ
			履修単位数	4
<b>学習目標</b>	・社会的な見方を働かせ、現代の諸問題を追求し、解決する活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる力を育成する。また、選択・判断の手がかりとなる概念・理論・政治・経済などに関わる現代の諸問題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。			評価 定期試験を軸に、授業への意欲的な参加や、関心の高さ、授業態度、社会に対する関心度などを、総合的に評価する。
<b>授業計画</b>				
月	単元・教材	学習内容		
4	<b>日本国憲法と民主政治</b> 1. 民主政治の成立 2. 基本的人権の確立 3. 世界の政治体制 <b>日本国憲法の基本原理</b> 1. 日本国憲法と三つの原理 2. 基本的人権の保障(1) 3. 基本的人権の保障(2) 4. 新しい人権と人権保障の広がり 5. 平和主義と安全保障(1) 6. 平和主義と安全保障(2) <b>日本の政治機構</b> 1. 国会と立法 2. 内閣と行政 3. 裁判所と司法 《第1回定期試験》	・民主政治の歴史、発展、種類を現実社会の諸事象を通して学ぶ。 ・基本的人権の歴史、発展、種類を現実社会の諸事象を通して学ぶ。 ・世界の政治体制の種類について、現実社会の諸事象を通して学ぶ。 ・日本国憲法の三大原理を理解し、恒久的に遵守することを学ぶ。 ・自由権的基本権の歴史・発展・種類を現実社会の諸事象を通して学ぶ。 ・社会権的基本権の歴史・発展・種類を現実社会の諸事象を通して学ぶ。 ・新しい人権がどのように生まれたか現実社会の諸事象を通して学ぶ。 ・平和の大切さ、日米安全保障条約を現実社会の諸事象を通して学ぶ。 ・自衛隊の歴史・存在意義を現実社会の諸事象を通して学ぶ。 ・国会・内閣・裁判所の役割、抑制と均衡の関係について学ぶ。		
6 7 9	4. 地方自治 現代選挙の特質と課題 1. 選挙のしくみと課題 2. 政党と利益集団 3. 世論と政治参加 <b>現代社会と法</b> 1. 法の働き 2. 社会生活と法 3. 司法と人権 《第2回定期試験》	・選挙について、その意義、機能を理解し、現実社会の諸事象を通して学ぶ。 ・政党・利益集団・世論の政治参加を現実社会の諸事象を通して学ぶ。 ・法律の大切さ、社会生活の中での法、司法と人権関係性について学ぶ。 ・法の意義・機能・問題点を現実社会の諸事象を通して学ぶ。 ・家族での法、契約・経済生活法について、現実社会の諸事象を通して学ぶ。 ・契約と法について、現実社会の諸事象を通して学ぶ。 ・司法と人権について、現実社会の諸事象を通して学ぶ。		
10 11	<b>経済の仕組み</b> 1. 経済社会の変容 2. 現代の企業 3. 市場経済のしくみ 4. 国民所得と経済成長 5. 金融のしくみと働き 6. 中央銀行の役割と金融の自由化 7. 政府の役割と財政 <b>変化する日本経済</b> 1. 戦後復興と高度経済成長 2. 産業構造の転換と国際経済環境の変化 3. バブル後の日本経済 4. 中小企業と農業 <b>豊かな社会への実現</b> 1. 自立した消費者への道 2. 労働者の権利 3. 現代の雇用・労働問題 4. 社会保障の役割 5. 環境保全と循環型社会 <b>国際政治のしくみと動向</b> 1. 国際社会の特質 2. 国際紛争を避けるしくみ 3. 国際連合と安全保障 4. 国際連合の役割と課題 《第3回定期試験》	・経済の歴史、成り立ち、現在、未来の展望を現実社会の事象を通して学ぶ。 ・企業の種類、課題等々を現実社会の事象を通して学ぶ。 ・市場経済のしくみを、現実社会の事象を通して学ぶ。 ・国民所得とは何か、物価の重要性等々を、現実社会の事象を通して学ぶ。 ・金融の種類、しくみを学び、金融政策を重要性を事象を通して学ぶ。 ・中央銀行を学び、金融の自由化・国際化を現実社会の事象を通して学ぶ。 ・財政について、現実社会の事象を通して学ぶ。 ・戦後復興、その後の経済成長を現実社会の事象を通して学ぶ。 ・国際経済環境が、どのように変化したか現実社会の事象を通じて学ぶ。 ・バブル前後の様子を現実社会の事象を通じて学ぶ。 ・中小企業とは、農業の現在と未来を、学ぶ。 ・消費者主権であることと、労働者の権利を現実社会の事象を通じて学ぶ。 ・雇用問題、労働問題を現実社会の事象を通じて学ぶ。 ・社会保障の種類、課題を現実社会の事象を通じて学ぶ。 ・環境の保全の大切さを現実社会の事象を通じて学ぶ。 ・国際政治の種類、役割、課題を現実社会の事象を通じて学ぶ。		
12 1	5. 冷戦とその後の世界 6. 軍縮への取り組み <b>国際経済のしくみと動向</b> 1. 貿易と国際分業 2. 外国為替のしくみと国際収支 3. 戦後国際経済の枠組みとその変化 4. 対立と協調の時代 5. グローバル化する経済 <b>国際社会の現状と課題</b> 1. 地域統合の進展 2. 変容する世界経済 3. 国際的な格差の是正 4. 地域紛争と難民問題 5. 国境をこえて広がる地球規模の課題 6. 日本の役割	・冷戦以降の社会、軍縮の必要性を現実社会の事象を通じて学ぶ。 ・日本の貿易の仕組み、課題を現実社会の事象を通じて学ぶ。 ・現在の貿易の課題を現実社会の事象を通じて学ぶ。 ・地域紛争や難民について、説明ののちに議論する。 ・地球規模の課題を理解し、将来のあり方を議論する。		
<b>副教材</b>	『新版 最新現代社会資料集2019』第一学習社			